



SCC Scientific Consulting Company Japan 株式会社

会社説明

1989年にFriedbert Pistel博士によって設立され、以降30年以上にわたり、当社は下記分野の規制面および科学的な支援の必要性に対し全世界の顧客にサポートを提供し、現在では欧州で最大の民間独立系規制コンサルティング会社の1社になりました。

SCC社成功のカギは、横断的な法規科学部門（Regulatory Science）に束ねられた各種専門家による科学的知識とそれに基づく顧客への対応にあります。SCC社は、現在全体で130名以上のチームとなり、多くの高学歴者やPhDが在籍しております。

本部はドイツRhein-Nahe地区Bad Kreuznachにあり、ベルリン支部が2014年に設立されました。日本では新たに2018年にSCC Scientific Consulting Company Japan 株式会社設立されました。

当社の本社は、フランクフルト空港から車で1時間以内の文化豊かなドイツ、ライン ナーエ地域パート クロイツナハにあります。さらに、ベルリン事務所と東京にSCC Scientific Consulting Company Japan株式会社があります。

【サービス内容】

- データのコンプライアンスレビュー
- 試験戦略および研究調査モニタリング
- 代替試験戦略および (Q)SAR ([定量的]構造活性相関)
- 科学的免除、Read-across (読み取り法)、グルーピングによるアプローチ
- 科学的リスク評価およびモデリング
- 科学的意見および専門家の取組み
- 電子的および従来型のドシエ作成および提出
- 国家および国際レベルでの関係ドシエに関する防御
- 製品登録の維持管理
- タスクフォース (作業部会) およびコソーシアム (共同事業体) の管理
- OR (Only Representative. 唯一の代理人) 制度のサービス (REACH)
- 規制に関するセミナーおよび専門家ワークショップ
- 電子的に関係書類およびドシエを管理するシステム(EDDMS)
- GLP認定されたスタディーおよびGLP非認定のスタディーをGLP認証取得済の施設で長期保管

【SCCジャパン】

2018年7月の日本法人設立により、SCC Japanは国内外のお客様の化学品法規制対応のニーズを満たす為に多くのサービスを提供しています。

SCCジャパンの設立に至るまでにSCCリエゾンオフィスジャパンとして日本国内で10年間の運営の実績があります。SCC Japanは設立当初から2つの方向で活動しています。

• 日本市場向けの法規制対応サービス

特に日本では、化審法（CSCL）および労働安全衛生法（ISHL）、並びに食品衛生法（食品用器具・容器包装規制に係る対応サービス）に基づく法規制対応サービスを提供しています。また、2020年には日本国内の農業登録支援や遺伝子組換え技術製品の登録支援サービス向けにレギュラトリーサイエンス部を設立しました。

• 海外市場向けの法規制サービス

海外では、EUのみならずUK、トルコ、ユーラシア、中国、韓国等様々な国・地域で本格的な法規制および科学的支援と登録サービスを提供しています。

SCCジャパンが本社への窓口として海外の登録支援を中継させていただきます。

会社概要

本社所在地

日本

事業内容

法規制対応コンサルティング

代表取締役

後藤秀俊

設立年

2018年7月

URL

<https://www.scc-japan.jp>

オフィス情報

メインオフィス

〒1060032

東京都 港区 六本木7-7-7

トライセブン六本木8階
